

活動名称 (40字以内)	アラブ首長国連邦の「いま」		
団体名等	東京大学院工学系研究科電気系工学専攻 UAE(アラブ首長国連邦)赤門会 東京大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input checked="" type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接(書類審査による選抜者が対象)
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		6 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	・学部前期・後期課程学生(英語による解説が理解でき、英語が公用語であるUAEの大学で学生と交流できる程度の英語力を有すること) ・日本国籍所有者		
活動期間	9月6日(金) ~ 9月14日(土)	主な活動場所	アラブ首長国連邦・アブダビ首長国(マスタール市、アブダビ市、アルアイン市)、ドバイ首長国(ドバイ市)
	9 日間		
目的	化石燃料の輸出に依存する経済から脱却すべく、世界の金融の中心となることを志向し、また、再生可能エネルギー源への転換を進めつつあるアラブ首長国連邦(UAE)の「いま」を、単に側聞するのではなく、身を以て体験して学ぶ。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>世界最高の超高層ビル「ブルジュ・ハリファ」や世界最大の人工島「パーム・ジュメイラ」など、アラブ首長国連邦(UAE)の砂漠に突如出現した「沸騰都市」ドバイは、世界中からの投資を取り込み、急成長を遂げている。</p> <p>UAEの首都である「石油都市」アブダビは、その近代性、安全性、快適性により、世界的にも高い評価を受けている。ドバイ郊外のサステナブル・シティーおよびアブダビの郊外のマスタールは、何れも再生可能エネルギーによる二酸化炭素を排出しないゼロカーボン都市である。</p> <p>本プログラムは、化石燃料の輸出から脱却すべく、世界の金融の中心となることを志向し、また、再生可能エネルギー源への転換を進めつつあるUAEの「いま」を、単に側聞するのではなく、その実情を、身を以て体験して学ぶことを目指している。それは、本学の学部生にとっては、中東にある「砂漠の中の近代国家」UAEという未知の世界との接触であると共に、自分の将来の選択肢に通じる体験でもある。</p> <p>本プログラムに参加する学生は、ドバイとアブダビにある日系の諸機関を訪問し、そこで働いている本学のOB/OG等との交流を通じて、日本人がUAEで働くことの意味を実感する。アブダビには最先端の技術開発を担う「カリファ科学技術大学(KUST)」と「石油大学(PI)」があり、本学と両大学は学生および教員の交流を実施している。マスタール市には、再生可能エネルギーの普及を地球全体で促進する国際機関「国際再生可能エネルギー機関(IRENA)」がある。本プログラムに参加する学生はKUSTおよびPIの研究者や学生と交流し、IRENAを訪問する。更には、日本企業がUAEで行っている様々な活動を学び、太陽光発電所を訪問し、UAEのルーツである古都「オアシス都市」アルアインを訪れる。</p>		
備考	<p>【プログラムの事前説明会開催】</p> <p>プログラムに興味のある学生の参加をお待ちしています。</p> <p>日時：2019年4月22日(月) 18時45分～20時頃</p> <p>場所：東京大学駒場キャンパス 1号館108教室</p> <p>・日本国籍の所有者のみが応募できる(本プログラムの実施に適用する外部資金からの制約)。応募団体より1名または2名(予定)の教職員がプログラムの実施全期間について同行する。本プログラムは「UAE(アラブ首長国連邦)赤門会」の全面的な支援と、安全に関する(現地に在住する日本人の観点での)助言を得て実施する。UAEでは外務省による危険情報は発出されていないが、在UAE日本大使館が発行する「安全の手引き」を全参加者に配布して、その遵守を徹底することで安全な行動を担保する。</p>		
参加するための費用*	内訳(1名当たり)		その他 [※] 特記事項は以下に記載
	航空券代金	130,000 円	指定された航空便により成田空港とアブダビ空港間を往復する(9月6日に成田発、9月14日に成田着を予定)。国内の居住地と成田空港間の交通費、現地におけるバスによる移動経費(現金500AEDを現地で徴収)、現地の市内で公共交通およびタクシー等で移動する為の交通費、現地での宿泊費と食費、現地での博物館等の入場料、は参加者が負担する。左記の航空券代金、宿泊費および現地交通費は2019年4月時点での見積額であり、実施時点では異なる場合がある。
	宿泊費	65,000 円	奨励金額 70,000 円
	現地交通費	25,000 円	
	()	円	
	計	220,000 円	
ウェブサイト等	<p>東京大学院工学系研究科電気系工学専攻: http://www.ee.t.u-tokyo.ac.jp/~nakano/lab/</p> <p>東京大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻: http://inter.k.u-tokyo.ac.jp/</p> <p>KUST: http://www.ku.ac.ae/</p> <p>IRENA: http://www.irena.org/</p>		